

提言 360° アイ

豊かな資源 活用を

島袋周仁氏(久米島の久米仙社長)

で目配りする産業、業種は
広く、産業振興以外の行政
運営も含めると、膨大な事
務事業だ。それをどうバラ
ンスよくやっていかねばな
らないか。一層創意工夫が
問われる。

久米島は、沖縄の縮図の
ような自然環境から農作
物、水産物、織物や泡盛と
いった地場の産業もあり、
その分、鎖国をしても生き
ていけるといわれるほど豊
かな島だ。こうした食うの
に困らない生活環境が逆に
作用し、豊かな資源がまだ
十分生かされていないとい
う点もこれまで指摘されて
きた。私も特産品や産業に
つながりそうなアイデアを
出したが、借金をしてまで
事業を継続することをため
らったり、信念を持って事
業をやり抜く「気概」に問題
があったのかもしれない。

ただ近年、行政や民間に
も各異で若いリーダーたち
が出てきた。それぞれの持
ち味や役回りを生かして島
全体が連携していくことが
今後の久米島振興の鍵にな
る。限らない発展の要素を
行政と民間が十分に吟味し
て活用し、豊かな自然は壊
さずに島を発展させてほし
い。私たちもやる気を持っ
たアイデアには協力を惜し
まない。

今や市町村行政も大きな
岐路に立たされていると
言っている。国からの補助
金を当てるに運営していた時
代から、これまで行政の中
では希薄だったコスト意識
が問われ、「自活」が迫ら
れているからだ。民間企業
なら昔からやっていること
だが、行政にとっては初め
てだろう。住民の生活にか
かわる重要なサービスを担
うだけに、これまでのよう
な甘えは許されない時代で
もある。